

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ピノキオ幼児舎関町保育園
施設所在地	杉並区高円寺南4-26-16
事業者名	株式会社ピノコーポレーション

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「自然」

<テーマの設定理由>

日常的に園周辺や公園で虫や植物などの自然に触れられる環境があることから、園外散歩の機会を多く取り入れている。そうした環境の中で、子どもたちは花や虫、食べ物などに興味を示す姿が日々見られている。身近な自然に継続的に関わりながら観察や体験を深めることで、自然の変化や命への気づきを広げていくことを目的としてテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

4～5月：好きな花を買いに行き、育てる
6月：じゃがいも掘り・いもへの興味を深める
7～8月：天気や気温に興味を持つ
9月：雲や雨の仕組みを知る
10月：パン作り（紙粘土）
1月：キッズカメラで園外探索
2月：園外施設で自然（星・生き物）に触れる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子どもたちが自然について継続的に関わり、試したり観察したりできる環境を整えた。花やいもなどの実物に触れながら観察できるようにし、温度計を用いて気温を測ったり、霧吹きやスポンジを使って雨の仕組みを再現したりするなど、体験を通して理解を深められるようにした。また、キッズカメラを活用し、虫や花など自分たちが興味を持った対象を撮影し記録することで、気づきを残せるよう工夫した。

また、園外においても環境を広げ、公園での自然観察や花屋での体験、じゃがいも掘り、パン屋での見学、プラネタリウムでの体験など、本物に触れる機会を積極的に取り入れ、子どもたちの興味関心を引き出しながら、探究活動へ興味を持続させた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

花の活動では、実際に花屋に行き、自分たちで花や球根を選ぶ経験を行った。店員に育て方を聞きながら「花が育つには何が必要か」を話し合い、水やりなどの世話やデッサンを通して、花への興味を深めた。また、キッズカメラを活用し、公園や道路に咲く花を撮影・共有することで、身近な自然への視点を広げた。

次に、じゃがいも掘り遠足に向けて、いもに関する探究活動を行った。じゃがいもやさつまいもなど複数のいもを見たり触れたり匂いを嗅いだりする中で、種類や特徴の違いに気づき、興味を高めた。その後、実際にじゃがいも掘りを体験し、さらに2種類のじゃがいもを使ったおやつを食べ比べることで、味や食感の違いにも気づくことができた。

また、気温への興味から、室内と戸外の温度を温度計で測定し、感じ方の違いをカレンダーにシールで可視化する活動を行った。そこから天気への関心が広がり、雲の動きや雨の仕組みに疑問を持つ姿が見られたため、実験を通して雨が降る仕組みを学んだ。加えて、科学館を訪問し、星や生き物に触れる機会を設け、自然への興味関心を広げていった。

さらに、パン作りの活動では、地域のパン屋を見学し、実際の製造の様子を間近で観察した経験をもとに、紙粘土でパンの制作を行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

花や球根を買いに行った際には、「このお花きれい!」「何色が咲くのかな?」と興味を示し、店員に「どうやって育てるの?」「お水はどのくらいあげるの?」と保育者と一緒に質問する姿が見られた。保育者や友だちと「お水がないと元気がなくなっちゃうね」「お日さまも大事だよ」と話し合いながら、花が育つために必要なものについて考えを深めていた。日々水やりでは「昨日より大きくなって!」と成長に気づき、デッサンを通して、身近な自然への関心を高めていた。ジャガイモ掘り遠足に向けた活動では「色が違うね」「形も違う!」と、見て・触れて・嗅ぐ中でそれぞれの違いに気づき、興味を広げていた。実際の芋掘りでは「大きいのが出てきた!」「まだ下にありそう!」と夢中になって土に触れ、友だちと協力して掘る姿が見られた。収穫後のおやつでは「同じじゃがいもでも味が違うね」と感じたことを言葉にしていた。パン作りの見学では、職人の手つきを間近で見ながら「どうやって丸くするの?」「いい匂いがする!」と関心を寄せ、その後の紙粘土での制作では「本物みたいにして!」と形や質感を工夫する姿が見られた。温度調べの活動では、「外はやっぱり暑いね」「今日は寒い気がする」など話し、友だちと感じ方が違う事にも気づきながら活動する姿があった。カレンダーにシールを貼ることで「今日は昨日より寒いよね」と変化を振り返る姿も見られた。そこから天気への関心が広がり、「どうして雨が降るの?」「雲はどうやって動くの?」といった疑問が生まれ、保育者と一緒に実験を行う中で「雨が降ってきた!」「雨って面白い!」と驚きや発見を楽しんでいた。園外施設での体験では、「星ってきれい!」「この生き物は何を食べるの?」など、新たな興味関心を広げながら、保育者や友だちと対話を重ねる姿が見られた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動を通して、子どもたちは実際に見たり、触れたり、体験したりする中で、「やってみたい」「知りたい」という気持ちを大きく膨らませていることが分かりました。花を育てる中での気づきや、芋掘り・パン作り見学の経験は、その後の遊びや制作活動にもつながり、興味が広がっていく様子が見られました。また、「昨日より大きくなっているね」「この芋は匂いが違うね」など、子ども同士で気づいたことを伝え合う姿も多く見られました。友だちとの関わりの中で、新しい発見が生まれ、考えが深まったりしていることを感じています。さらに、気温を調べる活動から天気に興味を持ち、「どうして雨が降るの?」といった疑問が生まれるなど、日常の小さな気づきが次の学びへと繋がっていききました。子どもたちの「なんでだろう?」という気持ちを大切にしながら、一緒に考えたり試したりすることで、理解がより深まっていくことを改めて感じました。これからも、子どもたち一人ひとりの興味や気づきを大切にしながら、楽しく学びが広がっていくような保育を行っていききたいと思います。

